

# 2025年3月期 第2四半期 決算説明会

2024年10月29日

**日野自動車株式会社**

取締役・専務役員 日本事業COO

佐藤 直樹

# 1.24年度2Q 決算のハイライト

## 決算の総括

- 営業利益：為替要因などもあり 上期 241億円。年度見通しを300億円へ上方修正。
- 当期純損失：米国当局との認証問題に関する和解に伴う費用の見積金額の引当など行い、上期で▲2,196億円と大幅な赤字。通期でもカバーしきれず赤字の見込み。

	2024年度2Q(上期)	2024年度通期見通し
営業利益	241億円	期首 200億円 → 300億円
変動要因	<small>対前年</small> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 国内・トヨタ販売増</li><li>・ 為替円安</li></ul>	<small>対期首公表見通し</small> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 為替の円安</li><li>・ 固定費の効率化他</li></ul>
当期純損失	▲2,196億円	未定 → ▲2,200億円

## 2. 認証問題関連の状況について

### 米国当局調査

- 当局調査は継続中  
(当局との和解に伴う費用の見積額を引き当て計上)

### 集団訴訟

- 米国：和解を裁判所が承認('24/4月)
- カナダ：和解を弊社取締役会で承認('24/9月)
- 豪州：引き続き係争中

### 国内出荷停止車両 型式再取得

- A05C(HC-SCR)は2024年度内の申請を目指している
- E13Cは2025年夏ごろの申請を目指している

### 3. 正常化に向けた取り組みの進捗

- **事業の再編**

- 不採算市場・事業整理・縮小・撤退

(5月に米国部品事業撤退、9月に上海日野の解散を公表済)

- **需給の改善による車両在庫の適正化・バランスシートのスリム化**

- 販売会社・架装メーカーさまなどとの連携強化を行い、在庫の圧縮を推進

- **適正な商品群・QDRの向上に向けた活動**

- 車両型式の見直しや部品種類の削減を推進中
- 安全で壊れないクルマ、お客様の稼働を徹底サポートを目指し活動中